



ゴラン高原
Golan Heights

TOOTARD

トゥートアルド

シリアとイスラエルの国境に位置するゴラン高原は、国際社会の批判を受けながらもイスラエルが長年に渡り占拠を続けている地域。その地に元々住んでいたムスリムたちは国籍を持たぬまま小さな村落で暮らしている。そうした村落のひとつ、マジダル・シャムスを拠点とするトゥートアルドはレゲエ・バンドとして活動を始め、現地で大きな人気を得た。さらに世界デビュー盤「レセ・バセ〜困難なき者たちの通行許可証」では〈砂漠のブルース〉を大胆に取り入れたミクスチュア・サウンドを披露。レゲエにロック、アラブ音楽やジャズも取り込んだ強靱なバンド・サウンドにのせ、一度も足を入れたことのない祖国への思いをアラビア語で歌う。

3peoplemusic

三個人〜スリー・ピーポーミュージック〜

台湾
TAIWAN

3peoplemusic は中国の伝統音楽家 3 人によるグループで、2013 年 11 月に活動開始。すべての作品は、3 人のメンバーによって作曲、アレンジがなされており、新たな音楽を創造するために、現代的視点から伝統的な音楽を再構築している。また、より多くのインスピレーションを求めめるため、彼らは他の楽器奏者や作曲家とコラボレートを行っている。アルバム「3PEOPLEMUSIC」(2016) は、台湾・金曲賞の Traditional Arts and Music 部門にノミネートされた。アジア各地やインド、ヨーロッパなどの音楽フェスティバルなどにも多数出演している。



National Culture and Arts Foundation



9月1日 土

開場 16:30・開演 17:00

桜坂劇場 A

Crossing of World Music

世界の音楽が出会う、 交差点。



9月2日 日

開場 18:00・開演 18:30

桜坂劇場 B



沖縄
OKINAWA

EPO AQUANOME OKINAWA

エポ アクアノーム オキナワ

日本を代表するポップシンガーとして活躍を続けるシンガーソングライター EPO が、自身のライフワークとして取り組むユニット AQUANOME (アクアノーム)。アコースティック編成で心地よく有機的に響けられる無国籍でユニークなサウンドは、ポップでありながら、力強く国境を越えていく力を秘めている。オキナワのミュージシャンを中心に編成されたバンドとの共演も楽しみだ。

EPO (Vocals, Guitar)
伊藤タツヤ (Guitars, Vocals)
ドン久保田 (Bass)
宮田まこと (Guitar, Percussion)
江藤有希 (Violin)

HIRARA

ヒララ

沖縄
OKINAWA

沖縄県宮古島市出身。

2003 年歌楽楽団の一員として音楽活動を始める。2005 年芸名を出身地の名称 HIRARA とし、様々なジャンルのアーティストとの共演も積極的に行う。ライブ活動は国内にとどまらず、タンザニア、スイス、フランス、ネパール、台湾、シンガポールなど海外でも幅広く展開。2018 年 6 月、台湾の CMO 楽団と共同製作した「夏美」が台湾版グラミー賞といわれる第 29 回金曲獎で最佳秀原住民族アルバム賞を受賞。宮古島城辺の古謡「アンナ(母)」を掘り起こし、阿美族語のアレンジを加えた合作曲「Anna Ina (Mother)」は好評を得ている。



ルーツの異なる音楽 瞬間の出会い。

野田隆司 (桜坂劇場 / Music from Okinawa)

沖縄から福野へのアクセスはなかなか大変だ。那覇から中部国際空港まで飛行機で飛び、名古屋駅で高崎行き的高速バスを降る。新渡戸橋でバスを降りて、JR の在来線・城端線へ、福野に向かう。ほぼ 1 日かかりの移動。もちろん他にもルートはあるが、これが一番安上がりだ。

かつての福野町 (現在の南町) で、「SUKIYAKI MEETS THE WORLD (スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド)」が始まったのは 1991 年。毎年、世界各地のアーティストがやってきて、全国から多くの聴衆が集まってくる。田舎に囲まれた僻やかな町は、スキヤキの期間だけ、華やかな音楽に彩られる。

おそらく音楽イベントだけでは、バブル経済の隆盛とともに消えていたに違いない。スキヤキが 30 年近くの長きにわたり続く理由は、長期にわたるワークショップをはじめ、音楽公演だけに留まらない地域との真文化交流を計っているからに他ならない。

初めて訪れた 2014 年、ディレクターのニコラ・リバレさんと出会い、翌年から「SUKIYAKI OKINAWA (スキヤキ・オキナワ)」が始まった。沖縄音楽を海外へ発信し、アジアとの音楽ネットワーク構築を目的とした「Music from Okinawa」というプロジェクトを始めたタイミングが重なったことも後押しした。沖縄には土地に根ざした独自の音楽が息づき、海外

の音楽との親和性も高い。異なる音楽が混じり合うことで、新たな音楽の可能性も広がる。そんな想いも強い。

過去 3 年間、「SUKIYAKI OKINAWA」には、アフリカのアーティストを招いてきた。今回は、ゴラン高原から TOOTARD (トゥートアルド) が、さらに、沖縄独自の招聘で、台湾から 3peoplemusic / 三個人がやってくる。また、沖縄からは、EPO AQUANOME OKINAWA と HIRARA が出演する。文化や風景、人々の営み。見知らぬ土地の音楽は、様々なことを教えてくれる。ルーツの異なる音楽の交わりは、見たことのない風景や想いを呼び覚ます。今回もうした瞬間の出会いに期待したい。